

第2学年 国 語

1 学習の進め方

- (1) 毎時間の最初に漢字スキルを使って漢字の学習に取り組みます。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 毎時間の授業の目標と流れを確認して、授業に臨みましょう。
- (4) 話をしっかり聴いて、工夫しながらノートをとりましょう。
- (5) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (6) 相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (7) 書写教材やプリントなどを使って言語に関わる力を養いましょう。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
…教科書、ノート（B5）、あかねこ漢字スキル、国語活用資料集、プリントファイル
書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身に付けましょう。
- (3) 提出物は期限を守りましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 発言は大きな声ではっきりとクラスみんなに伝えましょう。
- (6) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書や新聞等を通して活字に親しむ習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法についてはしっかり復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) 計画的に教科書ワークを使って、復習に努めましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、ノート、授業プリントをしっかりと読み直したり、見返したりしましょう。
- (2) 教科書ワークを使って、十分に理解ができているかを確認しましょう。
- (3) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (4) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるよう努めましょう。
- (5) 本文を繰り返し声に出して読み、理解を深めましょう。
- (6) 漢字、文法、言語に関わる内容は繰り返し復習に努めましょう。

5 2年生での学習内容…授業時間は、週4時間 年間140時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	1 広がる学びへ	10月	5 論理を捉えて
5月	2 多様な視点から	11月	6 いにしへの心を訪ねる
6月	2 多様な視点から 情報社会を生きる	12月	6 いにしへの心を訪ねる 読書に親しむ
7月	3 言葉と向き合う 読書生活を豊かに	1月	7 価値を語る
8月		2月	8 表現を見つめる
9月	4 人間のきずな	3月	8 表現を見つめる

※上記以外に書写の授業が入ります。

6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。

(定期テスト、漢字復習テスト、書写等)

観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。

(発表、スピーチ、ディスカッション、朗読、聞き取りテスト等)

B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。

(定期テスト、授業プリント、授業の発展課題、課題作文等)

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。

(定期テスト、授業プリント等)

観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。

(定期テスト、テスト反省の自己評価、提出物の提出状況・内容等)

第2学年 数 学

数学の授業は、3週時間です。年間を通して少人数の授業を行います。

1 学習の進め方

1時間の中でできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講 義・・・教科書の内容を整理し、問題を解きながら理解する。
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題 演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿 題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) メモをするところはしっかりメモし、考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切にす。必ずやり直す。

3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。
毎日の復習として取り組む。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	第1章 式の計算	10月	第4章 平行と合同
5月	第1章 式の計算	11月	第4章 平行と合同
6月	第2章 連立方程式	12月	第5章 三角形と四角形
7月	第2章 連立方程式 第3章 1次関数	1月	第5章 三角形と四角形
8月	夏休みのため 授業なし	2月	第6章 確立
9月	第3章 1次関数	3月	第7章 四分位範囲と箱ひげ図 1年間のまとめ

6 評価・評定について

(1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観 点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
内 容	計算やグラフを書くなど、 数学的に処理することができるか。	先を読む力、根拠を説明する 力など身に着けているか。	数学的活動の楽しさや数学の 良さを実感し、活用としているか。
評 価 材 料	☆定期考査 ☆小テスト等	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆レポート	☆定期考査 ☆小テスト等 ☆ワーク ☆提出物 ☆テスト振り返り

(2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

7 その他

(1) 長期休業中等に状況に応じて補充教室を行います。

第2学年 外国語（英語）

2 学習の進め方

- (1) 授業のスタートは「帯学習（英語の歌、Q&A、ディクテーション、など、毎回短時間くり返し行う学習）」を行います。
- (2) 昨年度と同じく、先生たちも授業中はたくさん英語を使います。
- (3) 授業は教科書、ワークシート、ワークを使用して、たくさんの活動（トレーニング）を行っていきます。
- (4) 今年度は特に「書く活動」に力を入れていきます。「英文を理解している」→「音読できる」→「書くことができる」の手順は変わりません。

3 学習（授業）上の注意点

- (1) 間違いを恐れず、積極的に活動に取り組みましょう。
- (2) 間違いを恐れず、大きな声で、はっきりと発言しましょう。
※授業は失敗する場所です。失敗することで必ず成長できます。
- (3) 英語は「実技教科」です。授業では、勉強（トレーニング）方法を伝えます。
家に帰ってから自分でトレーニングができるように、授業中は活動に集中しましょう。
- (4) 忘れ物をしないように、気をつけましょう。
持ち物：2年生の教科書、1年生の教科書、ノート、ファイル、辞書、めきめき English
二学期からは「読みトレ50」・「ディクテーションノート」

4 家庭学習の進め方 ※皆さんの力を一番伸ばせるのが「家庭での繰り返し学習」です。

- 1年生の3学期に伝えたトレーニングをたくさん行いましょう。
- (1) 1年生のときから取り組んできた教科書本文の☆（星）読み（※教科書本文のページ数が書かれている横のスペースに5回読んだら、☆（星）1つを書く。目標☆5つ）を続けましょう。
 - (2) 音読する際は、最初は読むスピードよりも口や舌の動き・位置に気をつけて正しい発音・イントネーションを意識しましょう。意識せずに口・舌が動くようになるまで繰り返しましょう。2年生の教科書の英文は、1年生のときよりも長くなり、難しい単語も増えてくるため、発音・イントネーションが適当になりやすいです。どんなに難しくなっても、「きれいな発音・イントネーション」へのこだわりは崩さず練習しましょう。
 - (3) 授業で音読した英文、暗唱した英文をライティングノートに書きましょう。
春休み終わった段階で500文はクリアしていますので、501文からが2年生のスタートです。（※すでに1000文を越えている人もいます。）「毎月100文以上」のノルマは継続していきます。また、2年生では、レベルを1段上げて、100文のノルマにこだわらず、自由にオリジナルの英文を書くトレーニングに取り組む人も出てきます。

5 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 音読。(暗唱するくらい) ※教科書・Basic Dialog・授業で暗唱練習した英文すべて。
- (2) 音読&暗唱した英文をライティングノートに書く。※何も見ないで書けるようになるまで繰り返す。
- (3) めきめき English を繰り返し解く。2年生では3週を目安に取り組みましょう。
 - 1週目：全部解く。2週目：間違えた問題、自信の無い問題をEWNに書いて解く。
 - 3週目：問題を見てすぐに答えが思い浮かばない問題をEWNに書いて解く。

6 2年生での学習内容とテスト（予定）（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	Starter, Lesson1	10月	Speaking Test2 「90秒間トーク」 中間テスト Lesson5、Listen4、Talk4、
5月	Listen1、Talk1、 GET Plus1、Lesson2 音読 Test1(朗読)	11月	GET Plus5 Project2 「修学旅行のプランを提案しよう」、Lesson6、 Listen5、Talk5、GET Plus6、 期末テスト
6月	Listen2、Talk2、 GET Plus2、 Project1(スピーチ“My Dream”) Lesson3、期末テスト	12月	Project3 「ディスカッションをしよう」 Reading For Fun2
7月	Speaking Test1 「1分間トーク」 GET Plus3、	1月	Lesson7、Listen6、Talk6、 GET Plus6 教科書マスターテスト①
8月	夏休みのため 授業なし	2月	2年間の復習、学年末テスト Speaking Test Topic Chat(2分間)
9月	音読 Test2(夏休み明け) Lesson4、Listen3、Talk3、 GET Plus 4、Reading For Fun1	3月	2年間の復習

7 評価・評定について

評価とは、英語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

- 観点1 <知識・技能>
- 観点2 <思考・判断・表現>
- 観点3 <主体的に学習に取り組む態度>

※授業やテストの中で、どの観点到点数を入れていくのか、伝えていきます。

第2学年 社会科

1 学習の進め方

- (1) 1・2年生で地理・歴史、3年生で公民を学習する
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する
- (3) 対話的な授業を心がける、先生と生徒のやり取りや生徒同士の話し合いを大切にする
- (4) ふり返りをし、1時間のなかで何を学んだか、まとめる
- (5) 状況に応じて小テストを実施する

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業は、専用の台紙（画用紙）に保管する授業プリントで学習を進める。
- (2) 地理と歴史はそれぞれ別にファイリングしましょう。
- (3) 授業中に板書したこと、説明したことのうち必要と思うことは積極的にメモしましょう。
- (4) 重要語句はマーカー・色ペンでチェックする等、授業プリントのまとめ方を工夫しましょう。
- (5) 調べ学習やグループでの話し合い活動には積極的に取り組みましょう

3 家庭学習の進め方

- (1) 復習をする場合には、授業プリントと教科書を照らし合わせ、よく確認しましょう。
学習したことは**忘れる前にワーク**で確認することも大切です。
- (2) 予習をする場合には、教科書をよく読み、**太字**で表記されている重要語句を確認するようにしましょう。
- (3) 定期考査前には学習したことを（自分で）ノートにまとめてみることも有効な勉強方法です。
授業プリント、教科書、ワークを活用して「ノートまとめ」をしてみましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 学習の基本は、用語や地名などの重要語句を覚えることです。
- (2) ワークを解き、知識が定着するようにしましょう。ワークは反復して解けるよう、付属のノートを活用するとなおよいです。
- (3) 単元は知識を関連させて、総合的に理解することも大切です。自分の言葉で学習内容を説明できるようにしましょう。その上でも「ノートまとめ」は有効な勉強方法です。

持ち物 地理のとき→教科書・授業プリント・地図帳・ワーク、必要に応じて Chromebook、のり
歴史のとき→教科書・授業プリント・ワーク、必要に応じて Chromebook。

※持ち物は全てロッカーに置いて構いませんが、授業開始の時には机上に準備した状態でいてください。

※授業プリントをファイルする時はきちんと折って、ていねいに保管するようにしてください。

6 2年生での学習内容（授業時間は、週3時間、年間105時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	地理 身近な地域の調査	10月	地理 日本の諸地域 北海道地方 歴史 室町時代
5月	地理 日本の地域的特色	11月	歴史 武家政権の展開と世界の動き 大航海時代 安土桃山時代
6月	地理 日本の諸地域 九州・中国四国地方	12月	歴史 武士による全国支配の完成 江戸時代
7月	地理 日本の諸地域 近畿・中部地方	1月	歴史 近代国家の歩みと国際社会 市民革命～開国
8月	夏休みの課題	2月	歴史 明治政府による「近代化」の 始まり
9月	地理 日本の諸地域 関東・東北地方	3月	歴史 帝国主義と日本

6 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 社会的事象への知識・技能

日本の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 社会的な思考・判断・表現

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 主体的に学習に取り組む態度

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。学習内容を見通したり、学びを振り返ったり知識に偏らずまとめている。

評価材料・・・レポート、授業、ファイル、ワークへの取り組み方、その他状況に応じて課される提出課題など

例：ファイル（授業プリント）の評価

用部分が工夫され、不足が絶対的にない：a、基本的なことがまとめられている：b、

明らかに足りない部分があるがろうじて提出：c、未提出：d

第2学年 理 科

1 学習の進め方

- (1) 【单元1】化学分野と【单元3】物理分野は、実験を中心とした授業を行います。
- (2) 【单元2】生物分野と【单元4】地学分野は、教科書や理科便覧を使い、調べ学習を中心とした授業を行います。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 毎回の授業で、教科書、理科便覧、ノート、クロームブック、赤ペン、青ペン、のりを持ってきてください。ワークは、指定したときに持ってきてきましょう。
- (2) 授業で配られるプリントは、基本的に「すべてノートに貼る」こととなります。プリントは、折りたたまずに、全面をはること。
- (3) 実験や観察では安全が第一です。事故は自分だけでなく、周りの人にも危険が及びます。薬品や実験器具・装置の使い方や注意点をしっかり聞き、十分に理解した上で、作業を行いましょう。
- (4) 実験台の上を整理し、集中して作業を行って下さい。片付けは協力して行いましょう。
- (5) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をして理解を深めていきましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、新しい発見をし、それを科学的に考えていく過程が大事です。したがって、基本的には教科書の予習をする必要はありません（実験操作や実験の注意点など、指示によって予習が必要な場合もあります）。
- (2) その分、授業の復習が大事です。ノートの開いたところには、**自主学習**とかいて、教科書・ノート、プリントをよく読み返し、その授業の**学習課題に関係するまとめや調べたこと**をかきましよう。また、ワークで問題を解く練習などをしましよう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いましよう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート（プリント含む）をよく見直しましよう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解し、ノートにまとめましよう。
- (3) ワークは「たしかな学習ノート」に（これを提出します）、①自分で解く（鉛筆）、②調べて解く、確認する（青）、③丸付け、間違い直しをする（赤）のように、段階を踏んで取り組みましよう。余白には、問題の解説（解き方）、計算方法、考え方のまとめなどをかきます。
- (4) 重要な用語は、覚えるだけでなく、説明できるようにすることで理解が深まります。
- (5) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容		月	学 習 内 容	
	理科 I	理科 II		理科 I	理科 II
4月	単元1: 物質	単元3: 気象観測	10月	単元2: 植物	単元3: 雲と前線
5月	単元1: 化学変化	単元3: 気象観測	11月	単元2: 動物	単元3: 大気の動き
6月	単元1: 化学変化	単元3: 気象観測	12月	単元4: 静電気と電流	単元3: 大気の動き
7月	単元2: 化学変化	単元3: 気象観測	1月	単元4: 電流	単元3: 日本の天気
8月	夏休みのため 授業なし		2月	単元4: 電流と磁界	単元3: 日本の天気
9月	単元2 細胞	単元3: 雲と前線	3月	中学1・2年生の復習	中学1・2年生の復習

6 評価・評定について

3つの観点別でA・B・Cの三段階で評価します。

A…達成率 80%以上 B…50%以上 80%未満 C…50%未満

その後、これらの観点から5段階で評定をつけます

5…達成率 90%以上 4…80%以上 90%未満

3…50%以上 80%未満 2…20%以上 50%未満 1…20%未満

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

- 科学的に探求する能力の基礎と態度を育む。(小テスト、定期テスト)
- 目的意識をもって観察、実験などを行い、データを整理してグラフなどにまとめる力を育む。(実験での取り組み、実験プリント、小テスト、定期テスト、実験装置の取扱いテスト)

観点2 【思考・判断・表現】

- 科学的な見方を養うとともに、科学的に考える力を育む。(実験プリント、レポート、小テスト、定期テスト)

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- 自然の事物・現象に進んでかかわり、自ら課題に対して粘り強く取り組み、主体的に学習に取り組む。(授業・実験の取り組みの様子、提出物、ノート、定期テスト)

第2学年 美術

1 学習の進め方

- (1) 基本的技法を身に付ける
- (2) 参考作品や資料を基にアイデアを練る。
- (3) 制作の順序を考え、見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 表現することを楽しんで活動する。
- (2) 表現したいイメージや主題を明確にする。
- (3) 授業準備をする。（材料、資料やアイデアに関するものを含む）
- (4) 授業時間の中で制作の時間配分を工夫する。

3 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集める。
- (2) 学習内容に関連したものに興味を持つ。
- (3) 情報を発想や構想に生かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねる。
- (4)

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業課題に関連した教科書、資料集、プリント内容の確認。
- (2) 基礎知識を実技に活用できるようにする。
- (3) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持つ。
- (4) 授業の振り返りをする。

5 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	自己紹介：花のスケッチ 木彫の基礎	10月	木彫なべしき：制作 仕上げ
5月	鑑賞：ゲルニカ 木彫なべしき：デザイン	11月	季節感のある暮らしを楽しむ 「五感で楽しむ季節の和菓子」
6月	木彫なべしき：制作	12月	鑑賞：「時」 明暗の表現
7月	木彫なべしき：制作 鑑賞：「和菓子」	1月	スクラッチ制作：下絵
8月	夏休みのため 授業なし	2月	スクラッチ制作：スクラッチ
9月	鑑賞：北斎からゴッホへ 木彫なべしき：制作	3月	スクラッチ制作：スクラッチ・彩色 鑑賞：最後の晚餐

6 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1

- ・ 期末テスト
- ・ 実技テスト
- ・ 作品

観点2

- ・ 期末テスト
- ・ ワークシート
- ・ アイディアスケッチ
- ・ 作品解説カード

観点3

- ・ 期末テスト
- ・ 作品制作過程、提出
- ・ 授業への取り組み（授業カード）
- ・ まとめワークシート

第2学年 音楽

1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) ストレッチ、発声練習
- (3) 練習（パート、全体）
- (4) プリント学習
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 音楽を存分に味わえるよう、集中できる心地よい空間を創っていきましょう。
- (2) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (3) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (4) 楽譜にしっかりメモをしましょう。
- (5) プリントの内容やわからないことをそのままにしないようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 宿題や提出物は期日を守って取り組みましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的に授業で話したことを出題するため、授業内容をしっかり聞きましょう。
- (2) プリントにしっかり目を通しましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

5 2年生での学習内容 (授業時間 週1時間 年間35時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	歌唱：校歌（混声三部合唱） 鑑賞：交響曲第5番「運命」 （オーケストラの楽器についてを含む）	10月	歌唱：課題曲、自由曲
5月	歌唱：校歌、課題曲「予感」、夏の思い出 鑑賞：交響曲第5番「運命」 （オーケストラの楽器についてを含む） 芸術鑑賞教室	11月	歌唱：実技テスト（課題曲）
6月	歌唱：夏の思い出 実技テスト（夏の思い出） 各クラスの自由曲	12月	器楽：箏 （実技テスト）
7月	歌唱：課題曲、自由曲	1月	歌唱：離任式歌 鑑賞：オペラ「アイーダ」
8月	夏休みのため 授業なし	2月	歌唱：校歌、離任式歌「春風の中で」 創作：旋律創作
9月	歌唱：課題曲、自由曲 鑑賞：歌舞伎	3月	歌唱：校歌、離任式歌

6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

定期テスト

実技テスト（発声、歌詞の発音の仕方、身体の使い方、声の響きなど）

観点2 【思考・判断・表現】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（強弱や表情などの表現、曲にふさわしい音楽表現）

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

授業への取り組み（発言、発表、ワークシート、練習態度など）

提出物（ワークシート、振り返りシートなど）

第2学年 技術家庭（技術分野）

2 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

3 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は教室、木工室、金工室を使用します。
- ・ 授業でプリントを配布します。板書された用語などをプリントに書き込むだけでなく、先生の説明も書き込むようにしましょう。
- ・ 安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 授業の終わりに授業のまとめをします。各自、授業で学んだことを記入しましょう。プリントは基本的に毎回提出ですが提出しない場合もあります。いつでも提出できるようにしておいてください。
- ・ プリントはファイルに必ず綴じます。プリントが返却されたらすぐファイルに綴じる習慣をつけましょう。ファイル提出もあります。

4 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ずファイルが必要になるので忘れないようにしましょう。
- ・ 授業のプリントを復習しましょう。

5 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 期末考査、学年末考査の範囲の教科書、授業プリントを中心に学習しましょう。

6 2年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【 A 材料と加工の技術 】 立体パズル対戦	10月	【 A 材料と加工の技術 】 作品製作 スプーン製作
5月	【 B エネルギー変換の技術 】 作品製作 プログラミング時計	11月	作品製作 部品加工
6月	作品製作 プログラミング時計	12月	作品製作 部品加工
7月	【 D 情報の技術】 生活や社会を支える情報の技術	1月	作品製作 部品加工
8月	夏休みのため 授業なし	2月	作品製作 部品加工、やすりがけ
9月	プログラムの構造と表現 プログラミング	3月	<学習発表会>

7 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。

* 期末考査 * 学年末考査 * 製作品完成度

観点2 【思考・判断・表現】

生活について見直し課題を見付けその解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

* 授業プリントの記入内容 * 製作過程 * 製作進捗状況

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

生活や指導について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

* 授業プリントの記入内容 * 授業態度

8 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業では怪我をしないよう安全に実習・作業を行っていかねばなりません。そのために集中して作業に取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

第二学年 技術家庭科（家庭分野）

1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は教室で行いますが、授業内容によっては被服室で行う場合もあります。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書したり、先生の話聞いてメモをします。
- ・グループで個人の意見を共有し、発表します。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。

2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や着席をしておく。
- ・授業は私語をせずに集中して取り組む。

3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・授業ワークシートを参考に、教科書を復習する。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業ワークシートを中心に、教科書を復習する。
- ・実習内容を復習する。

5 2年生での学習内容

月	学習内容	月	学習内容
4 ～ 7 月	1. 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしいコーディネート ③和服の文化 ④衣服の選択 2. 日常着の手入れと保管 ①繊維に応じた衣服の手入れ ②洗濯の方法 ③補修や収納、保管	1～ 3月	1. 私たちの消費生活 ① 消費者としての自覚を持つ ② 販売方法と支払い方法について知ろう ③ 商品の選択と購入について ④ 消費者トラブルを解決する方法を考えよう ⑤ 消費者の権利と責任について考えよう ⑥ よりよい消費生活を目指して 2. 環境に配慮した消費生活 ①エネルギー消費を減らす方法を考えよう ① 持続可能な社会を目指そう 学習のまとめ
9 ～ 12 月	3. 生活を豊かにするものの製作 ①布による作品製作（ペンケース） ②製作の基礎・手縫い、ミシン 4. 持続可能な衣生活 学習のまとめ		

6 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

* 定期考査、実技テスト、ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

観点2 【思考・判断・表現】

* 定期考査、ワークシート、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

* 授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。

* ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

第2学年 保健体育

1 学習の進め方

- (1) ラジオ体操を行います。また、種目に応じて主運動に繋がる準備運動をします。
- (2) 集団行動を繰り返し行い、正しい整列や挨拶をできるようにします。
- (3) 小集団でのグループ学習で話し合い活動やアクティブラーニングを中心に進めます。
- (4) 必要に応じて学習カードやクロームブックを活用します。
- (5) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) めあてを理解し、その達成に向けて取り組みましょう。
- (3) 用具の準備や片付け、環境整備をきちんと行いましょう。
- (4) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (5) 学習した知識や技術を活用して考えたり話し合ったりしましょう。
- (6) 自分や仲間の動きを確認し、良い点や改善点について指摘できるようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 授業で学習したことの振り返り。
- (2) 映像を確認して、正しいフォームやポイントを押さえる。
- (3) 技術のポイントの確認。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) プリントの見直しや復習プリントの確認をしましょう。
- (2) ルールや用具、安全上の留意点を記述できるようにしましょう。
- (3) 種目のルールや特性について、具体的に記述できるようにしましょう。
- (4) 動きのポイントについて、具体的記述できるようにしましょう。

5 3年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技 体づくり運動	10月	器械運動（跳び箱） 保健
5月	陸上競技 体育理論	11月	長距離走 保健
6月	水泳 保健	12月	バレーボール 体育理論
7月	水泳	1月	バスケットボール 保健
8月	夏休みのため 授業なし	2月	サッカー、ハンドボール 保健
9月	武道（柔道） 保健	3月	ダンス

6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

（評価材料）＊スキルテスト ＊ゲーム内評価 ＊単元テスト ＊定期考査

観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（評価材料）＊授業中の動き及び発言 ＊レポート ＊単元テスト ＊定期考査

観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

（評価材料）＊授業中の動き及び発言 ＊レポート ＊単元テスト ＊定期考査